

旅上 りよじょう

萩原朔太郎 はぎわらさくたろう

ふらんすへ行き ゆたしと思えども

ふらんすはあまりに遠 とおし

せめては新しき背広 せびろをきて

きままなる旅 たびにいでてみる。

汽車が山道 やまみちをゆくとき

みずいろの窓 まどによりかかりて

われひとりうれしきことをおもわん

五月 ごがつの朝のしのめ

うら若草 わかぐさのもえいづる心まかせに。